



9月議会では、古田議員が代表質問、船越議員が個人質問を行いました。補正予算議案や人事案件など27議案が提案され、すべて全会一致で可決されました。議員提出された二つの議案については、私たちは、それぞれ問題点を指摘して、反対しました。

**物価高騰で暮らしは大変
いまこそきめ細やかな支援を**

帝国データバンクによると、現時点で判明している今年の値上げ品目数は、累計2万34品目に上ります。買い物に行く度に、くらしの大変さを実感する毎日です。鳴門市では、3月議会に続いて、9月議会でも10月から新たに保育所、幼稚園などの給

食主食費の助成、すでに実施している中学3年生に加え、小学生と中学1～2年生の給食費も無償化する。新規就農者などに対しては機械や設備の導入費の支援や漁業支援を行うとしています。徳島市としてもきめ細かな支援を行うべきと求めました。

**徳島市立学校の適正規模及び配置について
「残してほしい」の声踏まえ、慎重な取り組みを**

検討委員会から出された答申書案では、統廃合を含む将来計画の検討の開始が、小学校は1学年当たり1～2学級、中学校は、1学年当たり2～3学級と出されました。該当する小学校は30校中16校、中学校は15校中6校です。余りにも多すぎます。全国には、地域の人たちと連携して、学校を残したいと小・中併設校や小規模特任校などの取り組みをされている学校がたくさ

んあります。学校と子どもたちは、地域の宝です。小規模校でも残してほしいという方々の意見を踏まえ、慎重に取り組むべきです。答申案に示された下限規模を縮小すべきと求めました。

統廃合を含む将来計画に…

該当する小学校	30校中16校
該当する中学校	15校中6校

